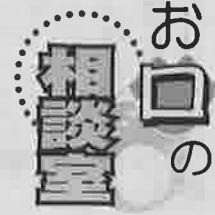


定期的な検診で予防を



お口の

ています。

【問い】自分は歯のことで苦労しましたが、子どもが同じ思いをしないようにするにはどうしたら良いでしょうか？ (佐世保市、40歳女性)

【答え】生涯にわたって自分の歯でしっかり物をかみ、健康な人生を歩むためには、歯を一本でも多く残していくことが重要と考えます。そのためにどんな知識が必要かを伝えします。まず、歯科医院にはどういったときに受診するのでしょうか。歯に痛みが出た、穴が開いた、かぶせ物が外れた、歯がグラグラしてかめない、歯が無いところに入れ歯を作りたい、あごが痛いなどさまざまな理由があると思います。それらはすべて、う蝕(むし歯)、歯周病、顎関節症が主な原因であることがほとんどです。そして、そうなる前から受診し、歯を削り、詰め物やかぶせ物をすれば、もう大丈夫だと思われていることが多いように感じます。しかし、一度削った歯は元に戻ることはなく、元の健康な状態ではありません。確実にダメージを受け

ています。口の中やあごに問題を抱えている場合、その原因を診査していくことが必要ですが、歯列(歯並び)の写真やエックス線写真、歯列模型などを用いて主治医と相談しながら、治療方針と一緒に考えることも必要だと考えます。子どもの歯列から大人の歯列になっていく過程で、歯列のコントロールはとても重要です。歯列不正があることで、う蝕、歯周病、顎関節症が発生するリスクが上がります。口の中で生涯にわたって、悩みがずっと改善されないかもしれません。そして、治療を繰り返して、一本ずつ歯を失っていくかもしれません。歯列が良ければブラークコントロールがしやすく、結果的に歯を失うリスクが減ることになります。歯をしっかり磨いて、定期的な検診を受けることでさらに歯を失うリスクが減ります。また、日本では矯正歯科や予防歯科の重要性が患者さんにより認知されており、治療を繰り返して受ける傾向があるように感じます。まずは、歯科医院で相談することから始めてみてはどうでしょうか。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒855-218601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。歯科医師会のホームページは「80200ながさき」で検索できますので参考にしてください。

歯を多く残すには

回答者 北尾 知章
佐世保市早岐2丁目
きたお歯科クリニック院長

